

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2021年4月分)

2021年5月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

目次(以下は主なトピックを抜粋)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●[新型コロナ感染状況、4月中旬以降改善傾向に](#)

(2) エンティティ、特別区

ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●[トラブニク市などにおける前倒し市長選挙の実施\(11日\)](#)

イ. スルプスカ共和国(RS)

●[RS政府主導の専門家委員会、先の紛争におけるセルビア系の被害に関する報告書を発表\(13日\)](#)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●[コムシッチ大統領評議会メンバー、EUと国連加盟国にノン・ペーパーを送付\(2日\)](#)

(2) 二国間関係

●[プリンケン米国務長官が大統領評議会に書簡を送付\(3月31日\)](#)

●[当地各紙、ヤンシャ・スロベニア首相によるBH解体を提言するノン・ペーパーにつき報道\(16日\)](#)

(3) 日・BH関係

●[伊藤大使のコシャツ通商・経済関係大臣への表敬\(21日\)](#)

●[伊藤大使のカリッチ・サラエボ市長との会談\(20日\)](#)

3. 経済

(1) 経済指標(BH統計庁)

(2) 経済政策・公共事業

●[BH閣僚評議会、BHの債務状況に関する報告書を採択\(9日\)](#)

●[BH中央銀行、2021～22年の国内インフレ率予測を発表\(27日\)](#)

(3) 経済協力(新型コロナウイルス対策支援を含む)

●[欧州投資銀行、BHに対する上下水道整備支援で合意\(20日\)](#)

(注:この月報は、当地紙報道などの公開情報を取りまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●新型コロナ感染状況、4月中旬以降は改善傾向に(1～30日)

BH国内では、新規感染者数が2日に過去最多の2,154人を記録するなど、4月中旬にかけて深刻な感染状況が続いた。感染者数はその後漸減傾向に転じ、22日には、首都サラエボ市が位置するサラエボ・カントン(県)政府は、域内飲食店の店内営業を条件付きで許可するなど、感染拡大予防措置の緩和を決定した。

また、BH国内の各自治体では、医療従事者に続き高齢者向けのワクチン接種が徐々に始まり、21日には、サラエボ・カントンで75歳以上の住民に対する接種が開始された。

(2) エンティティ、特別区

ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●トラブニク市などにおける前倒し市長選挙の実施(11日)

BH連邦のトラブニク市(BH中部)およびフォチャ・ウスティコリナ市(BH東部)において、前市長の死去などに伴う前倒しの市長選挙が実施され、このうちトラブニク市ではSDA(ボシュニャク系与党第一党)の候補が、フォチャ・ウスティコリナ市では無所属の候補が当選した。なお、トラブニク市では、前倒し選挙実施に反発するHDZ(クロアチア系与党)がボイコットする中での選挙実施となった。

イ. スルプスカ共和国(RS)

●RS政府主導の専門家委員会、先の紛争におけるセルビア系の被害に関する報告書を発表(13日)

RS政府主導の各国(米伊仏露、イスラエル、

セルビア)専門家による特別委員会は、先の紛争中のサラエボにおけるセルビア系住民の被害などに関する報告書を発表。この中で同委員会は、先の紛争はBH共和国(1992年2月の住民投票を受け、同3月に独立を宣言)軍の攻撃に対して、旧ユーゴスラビア防衛を試みたRSによる自衛戦争であったとする見解などを提示した。

●ブチッチ・セルビア大統領等のRS訪問(22日)

ブチッチ・セルビア大統領を始めとするセルビア首脳がRSを訪問し、ドディックBH大統領評議会議長、ツビヤノビッチRS大統領、およびビシュコビッチRS首相等、BHセルビア系の要人と会談した。両首脳は、BH南部のトレビニェ市(RS)における空港整備およびRS域内の高速道路建設を始めとするセルビア・RS間のインフラ整備協力に加え、最近のBH国内情勢等についても意見を交わした。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●コムシッチ大統領評議会メンバー、EUと国連加盟国に自身のノン・ペーパーを送付(2日)

コムシッチ大統領評議会クロアチア系メンバーは、EU本部および国連の各国常駐代表に対して自身のノン・ペーパーを送付。この中で同メンバーは、隣国セルビアおよびクロアチアがBH内政への間接的な妨害行為を続けているなどと指摘するとともに、OHRおよびEUの対応への不満を述べ、BH内政の正常化に向けたより強力な関与を要請。一方で、当地クイント(米英独仏伊)大使は、国際社会の活動に関する同ペーパーの文言に対して、不快

感を示す旨の声明を発出した。

(2) 二国間関係

● ブリンケン米 국무長官が大統領評議会に書簡を送付(3月31日)

ブリンケン米 국무長官が、BH選挙改正問題をめぐり大統領評議会に書簡を送付。この中で同長官は、過去の欧州人権裁判所の諸判決履行などに焦点を絞ったBH憲法改正を米国が支持する旨を述べた。BH国内では、ボシュニャク系政治家が同書簡を歓迎する一方で、セルビア系は、 Dayton 和平合意の変更は許容不可能であるとする従来の立場を重ねて示すなど、憲法改正に向けた米国の働きかけを牽制した。

● トウルコビッチBH外相のカタール訪問(1日)

トウルコビッチBH副首相兼外相(SDA所属)がカタールを訪問し、同国のアティヤフ副首相兼国防相、クワリ保健相、およびムライヒ副外相とそれぞれ会談を行った。各会談では両国の新型コロナウイルス対応などにつき話し合い、トウルコビッチ外相は、COVAXメカニズムを通じたBHのワクチン調達が遅れている旨発言、これに対してカタール側は、ワクチン調達につき同国がBHを支援する用意がある旨述べた。

● BH・クロアチア外相会談(14～15日)

グルリッチ＝ラドマン・クロアチア外相がBHを訪問し、トウルコビッチBH副首相兼外相、テゲルティヤBH閣僚評議会議長(首相、SNSD(セルビア系与党第一党)所属)、BH議会上下両院議長団等とそれぞれ会談を行った。両外相は、新型コロナウイルス問題およびBH選挙法改正問題などにつき話し合い、会談後、

グルリッチ＝ラドマン外相は、クロアチアがBHに対して新型コロナウイルス・ワクチンを供与する方針を発表した。

● 当地各紙、ヤンシャ・スロベニア首相によるBH解体を提言するノン・ペーパーにつき報道(16日)

当地各紙によれば、ヤンシャ・スロベニア首相がEUに対して、BH解体を含む西バルカン地域の国境再編を提言するノン・ペーパーを送付。同報道をめぐり、BH国内では、ドディック大統領評議会議長(セルビア系)がBHの平和的解体論を提唱するなど同ノン・ペーパーに近い立場を示したのに対して、コムシッチ・クロアチア系メンバーおよびジャフェロビッチ・ボシュニャク系メンバーがこれを強く非難するなど、新たな政治的対立に発展している。なお、ヤンシャ首相は同ノン・ペーパーへの関与を否定している。

(3) 日・BH関係

● 伊藤大使のコシャラツ通商・経済関係大臣への表敬(21日)

伊藤駐BH日本国大使は、コシャラツ通商・経済関係大臣を訪問し、日本からの投資をはじめとする二国間経済関係の促進について意見を交わした。コシャラツ大臣からは、長年に亘る日本のBH支援に対する謝意、本年の日・BH外交関係樹立25周年への祝意、およびBH国内の民間企業育成に関する日本の協力への期待が表明された。



(写真:伊藤大使とコシャラツ大臣)

●伊藤大使のカリッチ・サラエボ市長との
会談(20日)

伊藤駐BH日本国大使は、サラエボ市のカリッチ新市長と会談し、日本とサラエボ市の教育・経済・環境などの分野での協力につき話し合った。カリッチ市長からは、長年に亘る日本の同市への協力に対して謝意が表明された。



(写真:伊藤大使とカリッチ市長)

3. 経済

(1)経済指標(BH統計庁)

●GDP成長率

2020年第4四半期の国内GDP成長率は、季節調整後の数値で前年同期比3%のプラス。

●産業生産指数

2021年3月の産業生産指数は、季節調整後の数値で前月比1.6%のプラス、前年同期比では15.1%のプラス。

●貿易収支

2021年第1四半期の輸出総額は、前年同時期比16.6%プラスの30億6,400万KM(約15億6,600万ユーロ)、輸入額は前年同時期比2.7%プラスの44億200万KM(約22億5,000万ユーロ)。輸出額から輸入額を引いた貿易収支は約13億3,800万KM(約6億8,400万ユーロ)の赤字。輸出・輸入額の上位5か国は以下のとおり。

| BHからの輸出 | BHへの輸入 |
|---------|---------|
| ① ドイツ | ① ドイツ |
| ② クロアチア | ② イタリア |
| ③ セルビア | ③ セルビア |
| ④ イタリア | ④ クロアチア |
| ⑤ スロベニア | ⑤ 中国 |

●雇用／失業率

2021年2月の失業登録者数は41万776人。2019年を100とした場合の前年同期(20年2月)比で1.8%、実数にして7,888人の増加。

●平均給与

2021年2月の平均給与(手取り)は961KM(約491ユーロ)で、前年同期比で2.2%のプラス。

●消費者物価指数

2021年3月の消費者物価指数は前月比0.8%のプラス。

●観光客数

2021年3月にBHを訪れた観光客数は4万1,951人で、前年同期比44.7%のプラス。

(2)経済政策・公共事業

●BH閣僚評議会、BHの債務状況に関する報告書を採択(9日)

BH閣僚評議会(政府)は、BHの債務状況に関する財務省の報告書を採択。それによれば、2020年12月31日時点のBHの債務総額は121億5,456万KM(62億1,452万ユーロ)。このうち対外債務は全体の71.27%にあたる86億6,266万KM(44億2,914万ユーロ)、対内債務は全体の28.73%にあたる34億9,190万KM(17億8,538万ユーロ)。

●BH中央銀行、2021~22年の国内インフレ率予測を発表(27日)

BH中央銀行は、2021~22年にかけてのBH国内のインフレ率の予測値を発表。それによれば、2021年の国内インフレ率は0.94%、また2022年はやや上昇して1.31%と予測されている。

(3)経済協力(新型コロナウイルス対策支援を含む)

●ドイツ、新型コロナ対策でBHに医療用マスク650万個を供与(16日)

新型コロナ対策支援の一環として、ドイツはBHに対して医療用マスク650万個を供与した。

●欧州投資銀行、BHに対する上下水道整備支援で合意(20日)

欧州投資銀行(EIB)とBH政府は、BH中部のヤイツェ市(BH連邦)および同北東部のズボルニク市(RS)における上下水道設備の整備改修を目的として、EIBがBHに対して計210万ユーロの資金供与を行う旨の合意文書を締結した。

●EU、新型コロナ対策でBHに酸素ポンペを供与(22日)

EUは、新型コロナ対策支援の一環として、サラエボ・カントン域内の医療施設に対して酸素ポンペ200本を供与した。